

# 日中環境フォーラム 環境問題のフロンティアと日中政策比較

主催：愛知大学国際中国学研究センター

共催：北京大学国家発展研究院エネルギー安全と国家発展研究センター

後援：(一社) 中部経済連合会、(一社) 東海日中貿易センター、(独法) 科学技術振興機構中国総合研究交流センター

日時：2014年6月15日(日) 10:00~17:00

場所：愛知大学名古屋校舎厚生棟3階 W31・32 会議室 定員：50名 **要申込** 聴講無料

【企画の趣旨】日中関係が緊張が続くなかで、環境問題への対応が日中共通の利益に寄与しうるか。それが突破口となり、日中関係の深化に寄与できるか。この度、愛知大学 ICCS は提携先の北京大学から訪問教授を迎え、内外トップ水準の環境問題の専門家を迎えて多面的に討論していきます。ご参加をお待ちしております。

## 【趣旨説明 10:00-10:10】

高橋 五郎 (愛知大学国際中国学研究センター所長・現代中国学部教授)

## 【基調講演 I 10:10-12:00】

徐 晋涛 (北京大学国家発展研究院教授・エネルギー安全と国家発展研究センター長  
・愛知大学 ICCS 訪問教授)

「気候変動が中国の農業生産性に与えるインパクトの分析  
ー トウモロコシと大豆を事例としてー」

コメンテーター：高橋 五郎

昼休み (12:00~13:00)

## 【基調講演 II 13:00-13:40】

近藤 昭一 (衆議院議員・元環境副大臣・衆議院外務委員会・環境委員会元筆頭理事)

「環境外交を通じた日中関係の深化ーアジアの平和と発展」

## 【基調講演 III 13:40-14:20】

植田 和弘 (京都大学経済学研究科教授・元環境経済・政策学会会長・  
東アジア資源環境経済学会連合前会長)

「環境問題・環境政策の日中比較」

休憩 (14:20~14:40)

## 【研究報告 I 14:40-15:10】

大澤 正治 (愛知大学 ICCS 運営委員・経済学部教授)

「環境エネルギー政策の国内性と国際性、日本と中国の両国を考えながら」

## 【研究報告 II 15:10-15:40】

李 春利 (愛知大学 ICCS 経済環境班座長・経済学部教授)

「PM2.5 と中国の都市環境問題」

## 【総合討論 15:40~17:00】

共通論題「環境問題への対応は日中関係の深化に貢献できるか」

【パネリスト】 徐晋涛、近藤昭一、植田和弘、高橋五郎、大澤正治、李春利

【司会】 李 春利、大澤 正治

■申込方法：氏名(フリガナ)、所属、住所、電話、email をご記入の上、Eメールまたは FAX でお申込みください。お申込みいただいた後、ご連絡いたします。※先着順のため、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。お問い合わせ TEL052-564-6120 (9時-17時)

■申込締切：6月12日(木) ■申込先：愛知大学国際中国学研究センター 〒453-8777 名古屋市中村区平池町 4-60-6 FAX 052-564-6220 E-mail iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp アクセス <http://www.aichi-u.ac.jp/profile/campus-nagoya.html> (名古屋駅から徒歩12分、あおなみ線ささしまライブ駅から徒歩3分)